



○遠藤れい子事務所 〒940-0052 長岡市神田町3丁目1-3 TEL0258-32-1741 FAX0258-32-6443
○県議会執務室 〒950-0965 新潟市中央区新光町4-1 県議会内 TEL025-280-5475

*「遠藤れい子の県政だより」は、政務活動費を活用して発行しています。

知事選・参院選後に開催された2022年6月定例県議会(7月12日～8月2日)で、遠藤れい子県議が連合委員会で知事とおこなった質疑のよう、またその後の取り組みなどについて、お知らせいたします。

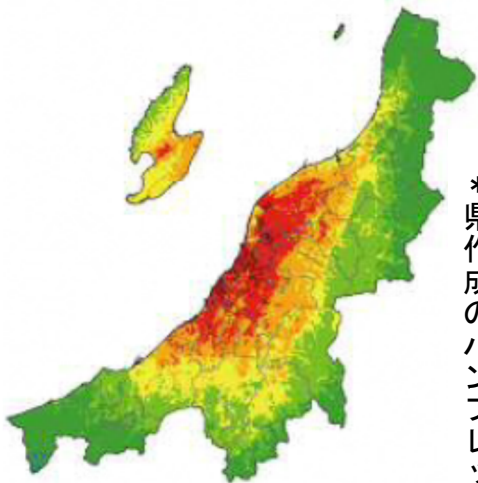
みなさんのご意見、ご感想、県政へのご要望など、気軽にお寄せください。

「地震被害想定」を県が公表

2022年
3月

最も大きい被害 長岡平野西縁断層帯

震度階級 1 2 3 4 5弱 5強 6弱 6強 7



*県作成のパンフレットより

想定被害

死者 約8千人
全壊建物 約17万棟
避難者(最大) 約47万人

防災局が今年3月に公表した新たな「地震被害想定調査結果報告書」によると、「長岡平野西縁断層帯」を震源とする地震発生によって、最も大きい被害が生じるとされま

す。

冬季、積雪時の場合、最大震度7の揺れで死者8千人弱、全壊家屋17万棟にのぼるという未曾有の災害です。

大事なことは、この地震が発生してから「知らなかった」「教えてほしかった」という県民が残されないように、十分に周知徹底すべきではありませんか。知事の所見を伺います。



遠藤れい子県議

もっとも大きい揺れで、死者8千人！
広く県民に周知せよ



花角知事

今回の調査は、防災にかかわる各種計画の見直しや県民の防災意識の向上をはかることを目的に、最新の知見や社会情勢の変化などもふまえて、24年ぶりに実施したものです。

この調査結果は、県民の安全安心にかかわる重要な情報ですので、県民に周知していくことが大変重要だと思っています。

パンフレットとか動画なども作って、広く県民への周知に取り組むとともに、防災教育のいろいろな場面で、自主防災組織のリーダー研修などでも活用してまいりたいと思います。

また、各種計画の見直しも図ってまいります。

古い建物の耐震化で、被害は減らせます

知事 住宅の耐震改修には県の補助制度が、断熱改修には国の補助制度がござります。耐震改修とあわせて断熱改修を行っていただくことは、効果的です。

関係部局が連携しながら相互に周知を図るなど、相乗的に効果が発揮されるように、取り組みを進めてまいりたいと思います。

遠藤 揺れに弱い古い建物の耐震化、耐震補強や建て替えを進めることで、全壊棟数を減らし、亡くなる人を減らすことは可能だとされます。

住宅丸ごと建て替えるには多額の費用がかかる一方で、居間や寝室などに耐震シェルターを設置する住宅リフォームは格段に負担が少なく、助成制度もあります。

地球温暖化対策で、断熱リフォームの促進も叫ばれている中で、「耐震・断熱リフォーム」支援制度の創設を検討すべきではありませんか。

省エネ・断熱リフォームとあわせて
耐震シェルター！耐震改修の促進を

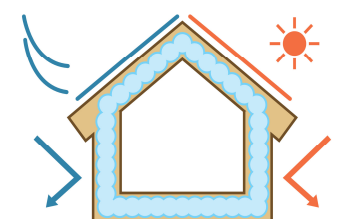


▲耐震シェルターの事例

*東京都のホームページより

▼断熱リフォームのイラスト

断熱リフォームは
補助金で安くできる！



国の助成金で、
200万円オフになる可能性も

	昭和56年5月31日以前に建築された一戸建、木造住宅耐震補助					ブロック 塀補助
	耐震診断	耐震補強設計	全体改修	部分改修	耐震シェルター等	
	個人負担額※1	補助上限額				
長岡市	1万円	15.5万円※2	105万円※2	(70万円) ※2	(40万円)	15万円
出雲崎町	1万円以上	－	75万円	(40万円) ※3	(40万円)	10万円

補注 () は、高齢者のみ世帯・障がい者等居住世帯の場合の個人負担額および補助上限額を示す。

(2022年4月現在)

※1 住宅規模が大きい場合、個人負担額が異なる場合がある。

※2 全体改修工事と耐震補強設計に対する助成額は上限120万円(部分改修工事の場合上限85万円)。

※3 部分改修後に、追加して耐震改修を行う場合は、+35万円。

冬季・降雪時のスクールバスを増やして！

遠藤県議、地元住民とともに
市教委に要望届ける

中之島みずほ団地は、中学校から3kmの距離にあるため、「夏場7km以上、冬場4km以上」という基準を満たしません。

しかし、冬季・降雪時は通学路の歩道除雪が、早朝の通学時間帯に間に合わず、やむを得ず車道を歩いて登校することになります。

車道を歩くのはとても危険なため、結局、ほとんどの中学生がご家族の協力で、自動車送迎となっている実態で、これが渋滞を引き起こす要因にもなっています。

冬季スクールバス増発は
多くの市民の願い

子どもたちの通学路の安全確保は不可欠の課題です。とくに、冬季・降雪期の通学路には、さまざまな危険があり、スクールバス増発の願いは切実です。

遠藤県議はこのほど、関係住民の方といっしょに、長岡市教育委員会に出向

き、歩道除雪の強化とともに冬季間のスクールバス増設の切実な要望を届けました。



新型コロナ対策強化を県・市に申入れ

遠藤れい子県議は、県（8/6）と長岡市（8/19）に、新型コロナ対策の強化を求める申し入れを行ないました。

要請内容は、▽発熱外来の増設▽学校・保育園を通じた検査キットの配布と活用▽保健所体制の抜本的強化▽売上減の事業所に対する県独自の給付金支給などです。

遠藤県議は「第7波」で医療・保健体制のひっ迫は深刻で、踏み込んだ対策が必要と述べ、「子どもは心配だから診療に訪れる。発熱外来の増設は不可欠」など現場の実情を伝え、対策の強化を求めました。



県政・市政報告会を開催

長岡市さいわいプラザで「県政・市政報告会」を開催（8月6日）。

遠藤れい子県議、服部耕一前市議、笠井則雄市議が報告しました。

新しい「地震被害想定」や地域医療構想などの問題点、下水道料金値上げ問題など、県・市政の様々な問題が報告され、参加者からは、河川の伐木、歩道除雪、道路表示などの次々に要望、意見が出され、活発に議論されました。



「新潟県女性議員の会」が総会を開催



▲遠藤れい子県議は、前列・左から2番目。中央は、佐久間副知事

「新潟県女性議員の会」は、7月29日、総会を開催しました。全県の女性の地方議会議員82人のうち、過半数を占める42名が会員です。

総会には24名が参加して、活動交流と研修を行いました。

フードバンク連絡協議会事務局長の小林さんから、「コロナ禍でフードバンクに支えられて命をつないでいる事例などが報告され、「扶養照会」などないアクセスしやすいセーフティネットが強く求められていると語られました。

「『安倍晋三元内閣総理大臣の功績を称え、そのご逝去に対し哀悼の意を表する決議案』には同意できない」と討論（8月2日）

遠藤れい子県議は、8月2日の県議会本会議で、自民党から提出された「安倍晋三元内閣総理大臣の功績を称え、そのご逝去に対し哀悼の意を表する決議（案）」に対して、以下のような反対討論をおこないました。

安倍元総理が、その動機のかんにかかわらず、無法な銃撃により殺害されたことは、民主主義の根幹を揺るがす暴挙であって、決して許されず、ご逝去に深い哀悼の意を表明し、ご冥福を心から祈念いたします。

たとえ政治的立場を異にしていたとしても、亡くなられた方に礼儀をつくすのがわが党の立場です。しかしそれは、安倍元総理に対する政治的評価とはまったく別の問題です。

決議案の表題と本文には、安倍元総理の「功績を称え」という文言が明記されています。

日本共産党は、安倍元首相の在任時から、その内政・外交政策の全般、政治姿勢に対して、厳しい批判的立場を表明してまいりました。

とりわけ、「集団的自衛権行使容認」の閣議決定、憲法違反の「安保法制」の強行、「モリ、カケ、桜」など数々の疑惑など、安倍元総理がすすめてきた内政・外交政策の問題点は、それを継承すると表明している岸田内閣のもとでも、ひきつづき国政の大きな争点となっています。

さらに、この銃撃事件を契機に「クローズアップされている」「旧統一協会」と政治の関係は、現在進行形で政治と社会を揺るがしています。

以上のような事実を見れば、無法な暴力によって命を失った安倍元総理に対する「哀悼の思い」をもっている多くの方々を含めて、その政治的立場や政治姿勢に対する評価は大きく分かれており、単純に「功績を称え」との表現で集約するわけにはまいりません。

以上の立場から、安倍元総理への哀悼の意を表明することは、その「功績を称え」ことは、明確に分けるべきであって、本決議案には賛成できないのであります。